

# クイックスタートガイド

## WebSense V10000 G2

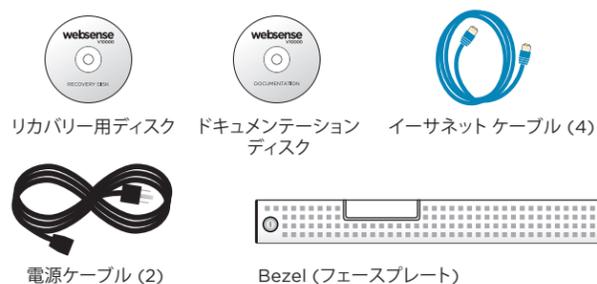
### Web & Email Security アプライアンス

#### ⚠ 開始する前に...

アプライアンスをセットアップする前に、配備を計画します。配備の概要と参照シートは、このガイドの裏面にあります。

## 1 内容の確認

### 1 付属キット



### 2 スライド式レディー レール キット



- 左レディー レール
- 右レディー レール
- ベルクロ ストラップ (2)
- ラック取り付けの手順

### 3 ケーブル管理アーム キット



- ケーブル管理アーム
- ケーブル結束ラップ
- 静的サポートトレイ
- CMA のインストールの手順
- ステータス インジケータ ケーブル

いずれかの品目が欠落している場合は、Websense サポートにご連絡ください。

## 2 ラックアプライアンス

スライド式レディー レール キットに添付されている『ラック取り付けの手順』を参照してください。

## 3 セキュリティモードを決める

アプライアンスは下記のセキュリティー モードをサポートします。

- **Web** (Web Security Gateway/Anywhere)
- **Email** (Email Security Gateway/Anywhere)
- **Web および Email** (Email と Websense Web Security または Web Security Gateway/Anywhere)

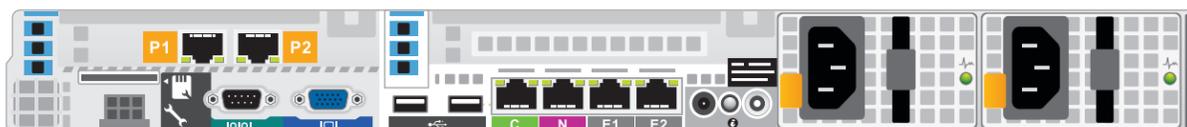
アプライアンスおよび配備計画に基づいて、このアプライアンスに適したセキュリティー モードを決めます。

## 4 ネットワークケーブルを接続する

このアプライアンスのセキュリティー モードによって必要とされるアプライアンス インターフェースを接続します。Cat 5E ケーブル (またはそれ以上) が必要です。クロスオーバー ネットワーク ケーブルは使用してはいけません。

	Web	電子メール	Web および Email
必須のポート:	C P1 N	C E1	C P1* N E1
オプションのポート:	P2 E1 E2	E2 P1 P2	P2 E2

\*Websense Web Securityには使用してはいけません。



### インターフェース 機能

- C**
  - アプライアンス モジュールの通信を提供し、インターネットからのデータベースのダウンロードを処理します。
  - TRITON Unified Security Center からの接続を受け入れます。
- P1 P2**
  - インターネット要求を受信し、Web サービスと通信するために Web Security Gateway プロキシを有効化します。
  - Email モードではオプションで E1/E2 にボンディングします。
- N**
  - Network Agent がインターネット要求をモニタできるようにします。
  - スイッチ ポートに接続します。N を通じてブロック情報を送信する場合、スイッチ上の双方向スパン ポート、モニタ ポート、またはミラー ポートに接続します。
- E1 E2**
  - メールを受信および送信するために Email Security Gateway を有効化します。
  - パーソナル電子メール管理とクラスタ通信を提供します。
  - メール サーバーへのアクセスが必要です。
  - Web モードではオプションで P1/P2 にボンディングします。

## 5 入力デバイスを接続する

1. 初期設定では、コマンドライン インターフェースにアクセスするために、シリアル ポートまたは KVM を通じてアプライアンスに接続します。シリアル ポートの設定は下記の通りです。9600 baud、8 ビット、パリティなし。



2. ベルクロ ストラップを使って電源ケーブルを固定し、電源ケーブルを適当な電源に接続します。



## 6 アプライアンスの電源をオンにする

アプライアンスの電源をオンにして、下記のインジケータを確認します。

### 前面

- 電源ボタンが点灯している。
- ハードドライブの LED が緑になっている。

### 背面

- 電源の LED が緑になっている。
- 接続されているインターフェース (NIC) の LEDが緑になっている。
- システム ステータス インジケータ (電源の左の LED) が青く点灯している。

いずれかのインジケータが正しく点灯しない場合は、Websense テクニカルサポートにご連絡ください。

## 7 設定の概要

詳細については、『V-Series Appliance **Getting Started** ガイド』を参照してください。

### 初期設定

アプライアンス コマンドライン (firstboot スクリプト)

- セキュリティ モードを設定します。
- Appliance Controller インターフェース (C) を設定します。

### Appliance Manager

- Logon ポータルを通じて Appliance Manager にアクセスします。
- NTP サーバー/システム時刻を設定します。
- 適用できるネットワーク インターフェースを設定します。

### Web モード

#### TRITON Unified Security Center

- ライセンス キーを入力し、マスタ データベースを更新し、Network Agent を設定し、TRITON - Web Security にポリシーを設定します。
- Windows Server 2008 R2 が必要です。

#### Content Gateway Manager (プロキシ)

- ユーザー 認証を設定し、プロトコルを選択します。

### Email モード

#### TRITON Unified Security Center

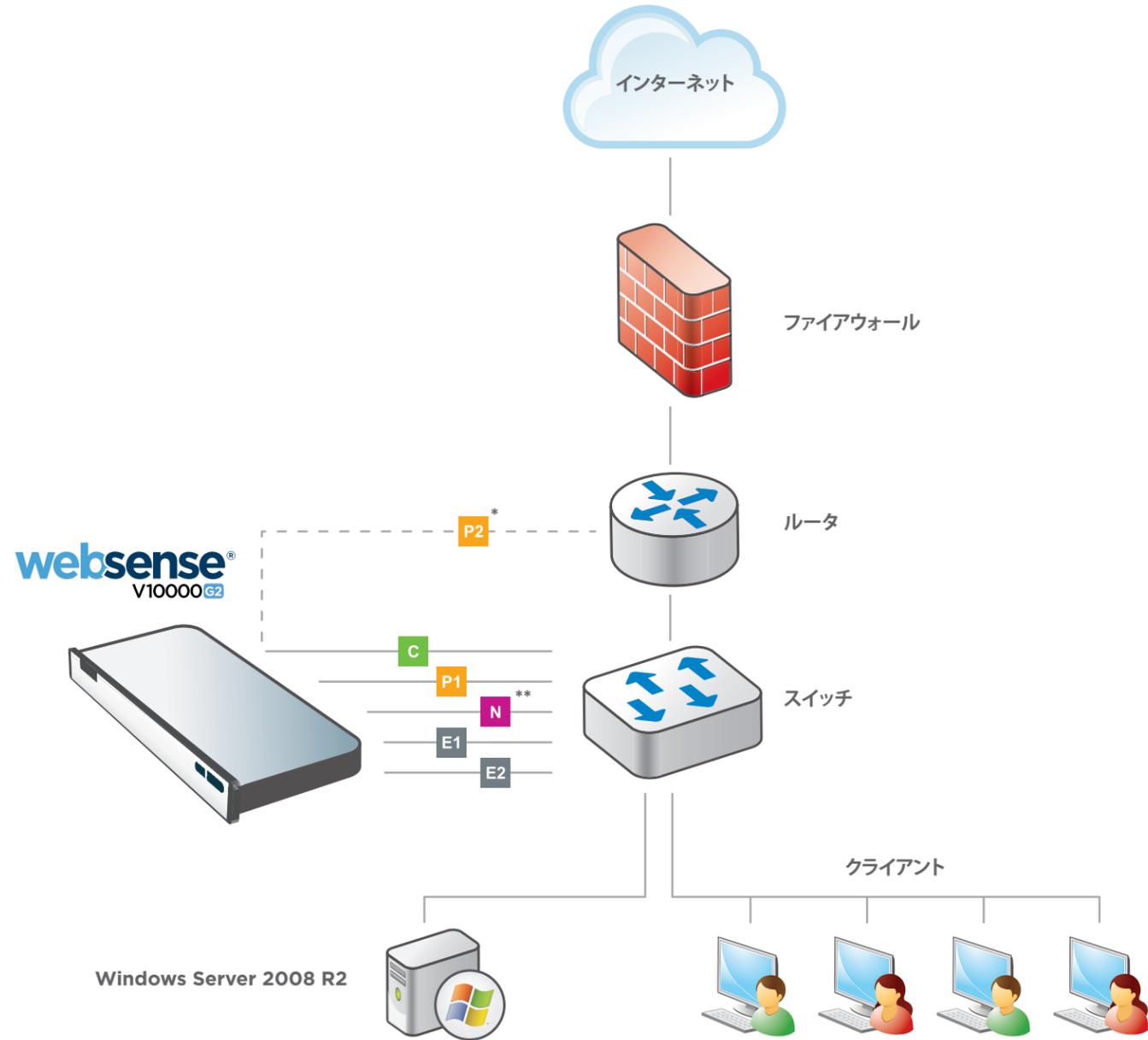
- 設定ウィザードを完了し、ライセンス キーを入力し、TRITON - Email Security にポリシーを設定します。TRITON - Data Security に電子メール DLP ポリシーを設定します。
- Windows Server 2008 R2 が必要です。

### Web および Email モード

Web モードと Email モードについて上記のステップを実行します。サイトに Websense プロキシがない場合、Content Gateway Manager の設定をスキップします。

## アプライアンスの配備の概要

ネットワーク上に1つ以上のアプライアンスを配備できます。下の図は、基本のアプライアンスの配備を示しています。TRITON Unified Security Center を実行するには、Windows Server® 2008 R2 を備えた別のコンピュータが必要です。詳細については、『V Series Appliance **Getting Started** ガイド』を参照してください。



\* P2 はオプションで、ルータまたはスイッチに接続できます。

\*\* N を通じてブロック情報を送信する場合、双方向スパンポート、モニタポート、またはミラーポートに接続します。

## サポートおよびリソース

Getting Started Guide

[www.websense.com/library/](http://www.websense.com/library/)

また、Documentation ディスクにも入っています。

オンラインサポートおよび連絡先

[support.websense.com](http://support.websense.com)

## 配備についてのリファレンスシート

### アプライアンス情報

ログインポータルURL:  ホスト名:

**admin** は、Appliance Manager、TRITON Unified Security Center、および Content Gateway Manager のデフォルトのユーザー名です。

### Networkの設定

#### Appliance Controller インターフェース (C)

IP アドレス:  一次 DNS:

サブネットマスク:  二次 DNS:

デフォルトゲートウェイ:  三次 DNS:

#### WebSense Content Gateway インターフェース (P1 および P2)

##### P1

IP アドレス:  デフォルトゲートウェイ:

サブネットマスク:  一次 DNS:

##### P2

IP アドレス:  二次 DNS:

サブネットマスク:  三次 DNS:

上記の設定は、P1 および P2 に適用します。

#### Network Agent インターフェース (N)

IP アドレス:  一次 DNS:

サブネットマスク:  二次 DNS:

デフォルトゲートウェイ:  三次 DNS:

#### Email Security Gateway インターフェース (E1 および E2)

##### E1

IP アドレス:  デフォルトゲートウェイ:

サブネットマスク:  一次 DNS:

##### E2

IP アドレス:  二次 DNS:

サブネットマスク:  三次 DNS:

上記の設定は、E1 および E2 に適用します。

### TRITON Unified Security Center

#### Web Security

Policy Server IP:  SQL Server

Log Server IP:  IP アドレス:

ライセンスキー:  ユーザー名:

#### Email Security

Log Server IP:  パスワード:

認証モード:

詳細については、『V Series Appliance **Getting Started** ガイド』を参照してください。